

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報誌



栄橋をのぞむ

光龍会 渋谷 知恵氏 作

9月定例会

No. 120

2012.11.2

総額115億9865万円はどのように使われたか (平成23年度決算他)	2
決算審査意見・決算審査報告	6
平成24年第3回議会定例会の議決等結果	8
新利根川河川改修の整備促進に伴う要望書提出	9
平成24年第3回議会定例会 議案概要	10
町政のここが聞きたい(一般質問)	12
利根町議会日誌(平成24年7・8・9月)	16
お知らせ	

平成 24 年第 3 回定例会は、9 月 3 日から 14 日までの 12 日間で開催された。

本定例会では、報告 1 件、専決処分 1 件、条例改正 2 件、補正予算 7 件、決算の認定 8 件、人事案件 1 件、諮問及びその他 3 件の議案が提出され、各案件とも慎重に審議された。

平成 23 年度決算（一般会計・特別会計・企業会計）を認定

総額 115 億 9865 万円は

平成 23 年度一般会計の主な事業

総務

防犯対策事業・デマンド型乗合タクシー運行事業・空き家活用促進事業・企業誘致促進事業。

民生

障害福祉サービス事業・医療福祉事業・保健福祉センター運営事業・子育て応援手当支給事業。

衛生

母子保健事業・健康増進事業・予防接種事業・清掃事業・廃棄物減量推進事業。

農林水産

農産物放射能測定事業・生産調整推進対策事業・基盤整備事業。

商工

消費者行政活性化基金事業・町内共通商品券販売路拡大事業。

土木

道路維持管理事業・町道除草工事事業・スーパー堤防整備事業・公園管理事業。

消防

施設維持管理事業・防災施設事業。

教育

学校活性化 T T 特別配置事業・語学指導事業・生活指導員配置事業・児童生徒健康管理事業・放課後子どもプラン対策事業。

平成 23 年度歳入歳出

(単位：千円)

会計名		歳入	歳出	差引
一	一般会計	5,915,655	5,627,121	288,534
特別会計	国民健康保険(事業)	2,371,745	2,219,033	152,712
	国民健康保険(施設)	133,649	109,277	24,372
	公共下水道事業	378,441	367,161	11,280
	町営霊園事業	10,973	8,285	2,688
	介護保険	1,190,163	1,184,700	5,463
	介護サービス事業	6,427	5,917	510
	後期高齢者医療	272,519	271,995	524
企業会計 水道事業	収益的(税込み)	418,392	1,217,507	△ 799,115
	資本的(税込み)	1,837	587,654	△ 585,817
合計		10,699,801	11,598,650	△ 898,849

※収益的収支は、県南水道統合に伴う新規事業並びに資産処分等で 799,115,000 円の不足となったが、これまで積み立てた剰余金で充当した。また資本的収支は、585,816,000 円不足したが、消費税資本的収支調整額と内部留保資金及び積立金で補填した。

どのように使われたか

平成23年度一般会計支出決算 目的別性質別内訳

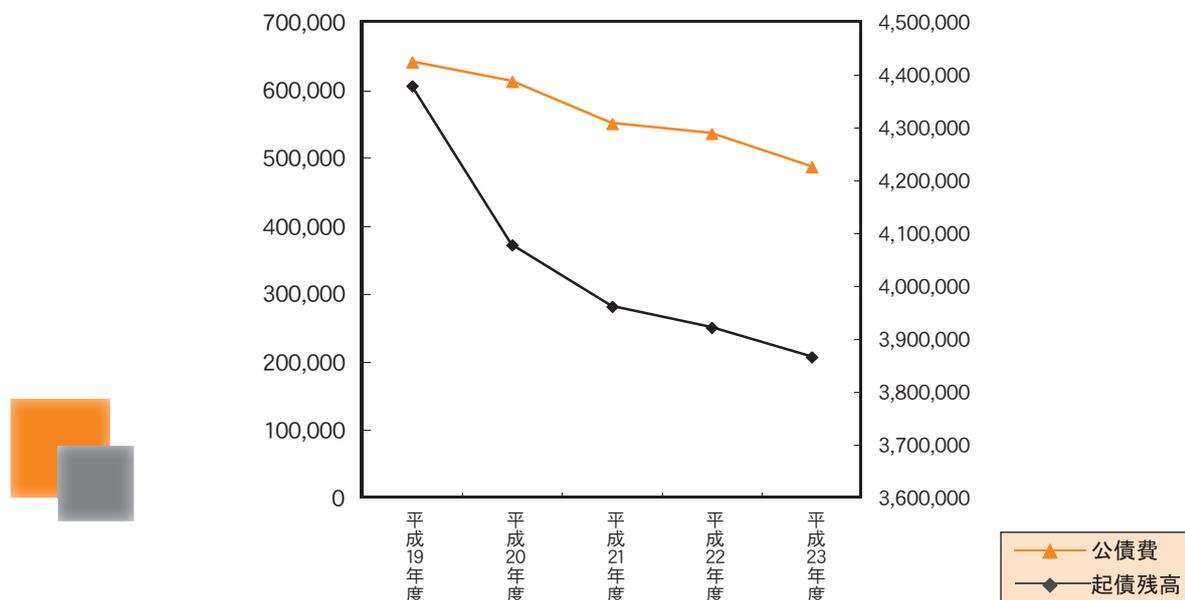
(単位：千円)

目的別 費目	義務的経費			投資的経費		物件費			その他経費						合計
	人件費	扶助費	公債費	建設 事業費	その他 投資的 経費	需用費	委託料	その他 物件費	維持 補修費	補助金	交付金	繰出し 金	積立金	その他	
1 議会費	97,206	0	0	0	0	2,338	2,014	407	0	0	607	0	0	278	102,850
2 総務費	549,763	0	0	8,099	1,385	32,920	78,161	93,385	16	1,038	0	0	0	25,005	789,772
3 民生費	200,008	767,069	0	1,230	0	8,692	18,232	23,431	0	35,098	0	439,556	0	16,683	1,509,999
4 衛生費	72,668	0	0	0	31,279	13,407	109,521	11,848	0	715	80	0	0	481,649	721,167
5 農林水 産業費	61,329	0	19,079	56	0	1,388	6,407	1,351	1,197	26,702	2,390	0	0	123,187	243,086
6 商工費	8,997	0	0	0	0	285	1,790	31	0	5,100	0	0	0	3,968	20,171
7 土木費	68,813	0	0	156,875	4,725	2,591	5,844	2,079	25,719	0	0	100,780	0	465	367,891
8 消防費	12,062	0	0	4,160	4,630	7,443	4,561	6,392	0	100	0	0	0	280,192	319,540
9 教育費	251,816	20,583	0	96,244	0	87,865	36,189	76,810	2,919	3,910	0	0	0	17,150	593,486
10 公債費	0	0	486,703	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	486,703
11 諸支 出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	506	328,558	0	329,064
12 予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 災害 復旧費	0	0	0	0	0	723	0	0	0	0	0	0	0	142,669	143,392
合計	1,322,662	787,652	505,782	266,664	42,019	157,652	262,719	215,734	29,851	72,663	3,077	540,842	328,558	1,091,246	5,627,121

起債残高・公債費

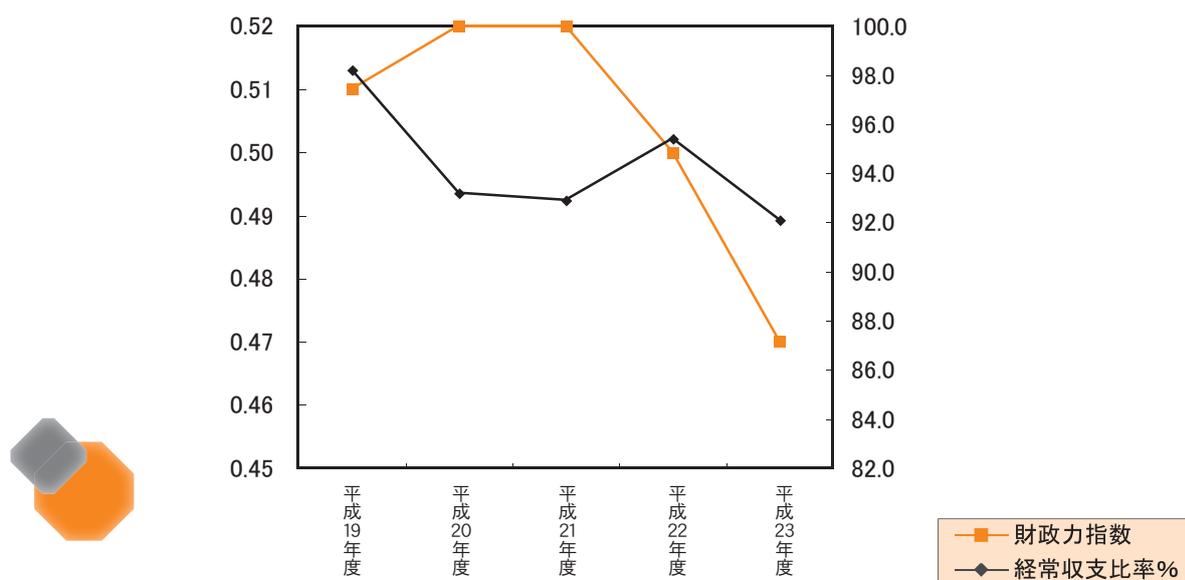
(単位：千円)

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
公 債 費	640,884	612,612	550,370	535,834	486,703
起 債 残 高	4,379,693	4,077,839	3,961,585	3,921,755	3,866,161



財政力指数・経常収支比率

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
財 政 力 指 数	0.51	0.52	0.52	0.50	0.47
経常収支比率%	98.2	93.2	92.9	95.4	92.1



公債費比率は5.9%で、前年度に比べ1.7ポイントの減となった。地方債現在高は前年度の39億2175万5千円に対し、本年度は38億6616万1千円と5559万4千円の減となっている。経常収支比率は92.1%と前年度に比べ3.3ポイント改善したが、財政の硬直化がなお懸念される。財政力指数は、0.47と0.3ポイントの減となった。(1に近いほど財源に余裕がある。)

平成28年度末の利根町基金残高一覧

単位：円

基金名	区分	前年度末現在	決算年度中増減額	決算年度末現在高
利根町財政調整基金	現金	743,399,000	77,105,000	820,504,000
利根町公共施設維持整備事業基金	現金	89,801,000	△ 18,525,000	71,276,000
利根町地域づくり特別対策事業基金	現金	43,080,000	△ 4,633,000	38,447,000
利根町減債基金	現金	59,568,000	100,000	59,668,000
利根町地域振興基金	現金	0	0	0
利根町環境施設整備基金	現金	348,866,000	△ 64,027,000	284,839,000
利根町義務教育施設整備基金	現金	82,696,000	△ 6,367,000	76,329,000
利根町地域福祉基金	現金	211,825,000	△ 464,000	211,361,000
新利根町川治水対策整備基金	現金	313,650,000	△ 27,850,000	285,800,000
利根町成田線整備基金	現金	5,163,000	0	5,163,000
利根町農業経営基盤強化基金	現金	34,002,000	△ 2,391,000	31,611,000
茨城県利根浄化センター周辺地域生活環境整備基金	現金	185,885,000	△ 47,901,000	137,984,000
がんばる利根町応援基金	現金	320,000	30,000	350,000
利根町復興まちづくり支援事業交付金基金	現金	0	102,000,000	102,000,000
利根町国民健康保険（事業勘定）財政調整基金	現金	129,943,000	11,960,000	141,903,000
利根町国民健康保険（施設勘定）財政調整基金	現金	59,444,000	3,417,000	62,861,000
利根町公共下水道事業財政調整基金	現金	19,548,000	16,481,000	36,029,000
利根町霊園事業財政調整基金	現金	169,934,000	3,806,000	173,740,000
利根町介護保険特別会計給付費準備基金	現金	133,765,000	△ 25,849,000	107,916,000
利根町介護従事者処遇改善臨時特別基金	現金	2,739,000	△ 2,739,000	0
利根町土地開発基金	畑	m ²	m ²	m ²
	金額			
	田	103m ²	m ²	103m ²
	金額	515,000	0	515,000
合計	現金	192,235,000	426,000	192,661,000
合計		2,826,378,000	14,579,000	2,840,957,000

監査委員からの決算審査意見

平成 23 年度利根町一般会計歳入歳出決算につき、地方自治法第 233 条の規定により審査を遂げたところ、収支共に正確にして規定に違背した点なく、且つその計算は帳簿ならびに証書類と照合し、総て正当なるものと認める。

平成 24 年 8 月 3 日 利根町監査委員 五十嵐 弘
利根町監査委員 若泉 昌寿

※一般会計の他、特別会計及び企業会計においても総て正当なるものと認める。

決算審査報告

平成 23 年度の決算審査は、3 日間にわたって決算特別委員会で慎重に審議され、その後本定例会の本会議最終日に、委員長から以下のとおり委員会審査の報告があった。

本会議での質疑・討論はなく、採決の結果、全員賛成で認定された。

決算特別委員会

委員長 白旗 修

審査結果

平成 23 年度の利根町一般会計並びに 6 つの特別会計（国民健康保険、公共下水道事業、町営霊園事業、介護保険、介護サービス事業、後期高齢者医療）と水道事業会計の併せて 8 つの決算について、慎重審議の結果そのすべてを全員賛成で原案どおり認定しました。

委員長総括

赤信号も黄信号も出てないが・・・

それでは、平成 23 年度の決算を財政的視点から総括します。

昨年度と同様、利根町財政の健全度は総務省のいう財政健全化判断比率の基準に抵触していません。つまり財政上の赤信号も黄信号も出されている状態ではありません。

しかし、このような基準に抵触するようでは相当に重病なのであって、この基準をクリアしているからと言って町の財政が安心だとは決して言えません。

そこで、より一般的な財政指標を使って今後の努力すべき方向をみたいと思います。

自主財源は毎年減少

まず、利根町の財政力指数について申し上げます。

平成 23 年度、利根町の財政力指数は 0.47 です。複数年度にわたってみると、平成 20 年度と平成 21 年度の財政力指数は 0.52、昨 22 年度の財政力指数は 0.50 でしたから、町の財政力は徐々に低下していると見られます。

きわめてゆとりのない財政

次に、利根町の経常収支比率について申し上げます。

平成 23 年度の利根町の経常収支比率は 92.1 です。この数年改善の方向に向いています。しかし、町村の場合は、経常収支比率は一般に 70 前後が適切と言われていています。それに比べれば利根町の経常収支比率は相当高く、まだまだ改善されなければなりません。

財政ひっ迫の原因は・・・

利根町の財政が、今なお厳しい原因はどこにあるのでしょうか。原因は三つです。

第一の原因は、町の収入の慢性的不足にあります。

自主財源の柱である町税は、政府の三位一体改革による国から地方への税源移譲のときを除けば、労働力人口の減少を反映し、毎年減少し続けていることをご承知のとおりです。国の厳しい財政状況からいって今後増えることはあまり期待できません。

第二の原因は、経費の増大にあります。

義務的経費のうち人件費と公債費は少しずつ抑制効果が表れていますが、扶助費は過去 20 年以上一貫して上昇を続けており、特に昨年度から高い伸びを示しています。

これは、子ども手当に象徴される国の政策によるものが多く、国や県からの交付金、補助金、負担金も多いのですが、町自身の財源も充当されています。また、国民健康保険事業や介護保険事業などの特別会計で処理されている保険事業も、町の財政の大きな圧迫要因となっています。さらに、広域事務組合の分担金も多額に上ります。

第三の原因は、基金の減少にあります。

基金残高の総額は、平成 12 年からほぼ一貫して減り続けており、平成 23 年度までの 12 年間に約 18 億 6000 万円、率にして約 45% も総残高が減少しています。

この基金減少の原因は、歳入不足を基金の取り崩しで補っている。つまり、多くの経費の支払いと町債の返済のために、財政調整基金や特定目的基金や減債基金を取り崩しているからです。

財政を立て直すには・・・

財政を立て直すには、大きく二つの方法しかありません。

一つは、**自主財源（税収）の増加**を図ることです。

その最も大きな方策は、抜本的な産業振興策を考え実施することです。もちろん、今そのための努力を続けているわけですが、今なお展望が開けていません。なぜでしょうか。私は、町の産業振興策が、「待ちの姿勢」に終始しているからだと思います。このため、農業振興策も商工業振興策も無策に近い。農業者や商工業者が動かないと町が動けないというのは「待ちの姿勢」であり、これでは産業の振興はできないでしょう。

もう一つの方策は、**諸経費の抜本的削減**を図ることです。

これも努力を怠っているわけではありません。しかし、事業・事務の見直しなど、きわめて不徹底です。業務改革の発想と方法を根本から変えることが必要と考えます。

決算審査を次年度予算に活かそう

決算審査は次年度の事業予算を改善・改革することにつながります。執行部の皆様には、決算のデータや決算の審査過程から見えてくる問題点や課題を十分に踏まえて平成 25 年度の予算を編成されるよう、心から望むものであります。

平成24年第3回議会定例会の議決等結果

(町長提出議案・議員提出議案)

会 期 平成24年9月3日(月)～9月14日(金) 実質審議日数9日間
 審議議案 町長提出議案22件(諮問含)・議員提出議案1件

件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別										
		賛成	反対	新井	花嶋	船川	守谷	坂本	高橋	井原	今井	若泉	白旗	五十嵐
平成24年度利根町一般会計補正予算(第3号)の専決処分について	原案承認	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
利根町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成24年度利根町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成24年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成24年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成24年度利根町営霊園事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成24年度利根町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成24年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成24年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
財産の取得について	原案可決	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
利根町教育委員会委員の任命について	同意	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—
平成23年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別													
		賛成	反対	新井	花嶋	船川	守谷	坂本	高橋	井原	今井	若泉	白旗	五十嵐			
町長提出議案	平成23年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成23年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成23年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成23年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成23年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	平成23年度利根町水道事業会計決算認定の件	認定	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	9	0	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—
出議員提案	メガソーラー事業誘致検討特別委員会の設置について（提出者 白旗修議員）	原案可決	9	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表します。



新利根川河川改修の整備促進に伴う要望書提出

近年の集中豪雨により、以前より町内各地では新利根川の排水能力不足と思われる住宅地内の道路冠水等の浸水被害が多く発生している問題で、町議会議長及び冠水対策特別委員会委員長は8月30日、一刻も早く町民の不安を解消するため、竜ヶ崎工事事務所所長に新利根川河川改修の早期整備実施を要望いたしました。



平成24年 第3回議会定例会 議案概要

平成24年度利根町一般会計補正予算（第3号）の専決処分について……………【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ408万7千円を減額し、総額52億6932万3千円となりました。歳出の主なものは、予防費「予防接種事業」171万4千円、学校管理費「小学校施設維持補修事業」237万3千円の増額です。

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例…【可決】

災害対策基本法の一部を改正に伴い、利根町災害対策本部条例及び利根町防災会議条例における関係規定を改めるもの。

利根町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例…【可決】

利根町消防団における分団数の減少及び慢性的な消防団員数の減少により、現状に即した定員数に改めるもの。

茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について……………【可決】

住民基本台帳法の一部改正に伴い、茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更することについて協議するもの。

平成24年度利根町一般会計補正予算（第4号）……………【可決】

予算額に歳入歳出それぞれ1億5972万4千円を追加し、総額54億2904万7千円となりました。歳入の主なものは、地方交付税9403万7千円増額、前年度繰越金1億5793万4千円増額等であり、歳出の主なものは、災害救助費「災害援護資金貸付事業」1190万円増額、学校管理費「中学校施設維持補修事業」315万円増額などです。

平成24年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）……………【可決】

事業勘定については、予算額に歳入歳出それぞれ9789万4千円を追加し、総額24億2196万6千円となりました。歳入の主なものは療養給付費交付金繰越金で、歳出の主なものは後期高齢者支援金などです。

施設勘定は、予算額に歳入歳出それぞれ1232万円を追加し、総額1億1148万7千円となりました。歳入は前年度繰入金で、歳出は財政調整基金積立金などです。

平成24年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）……………【可決】

予算額に歳入歳出それぞれ841万4千円を追加し、総額2億8408万円となりました。歳入は前年度繰越金で、歳出は公共下水道維持管理費などです。

平成24年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第1号）……………【可決】

予算額に歳入歳出それぞれ268万8千円を追加し、総額787万3千円となりました。歳入は前年度繰越金で、歳出は事業費「町営霊園維持管理事業」です。

平成 24 年度利根町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）……………【可 決】

予算額に歳入歳出それぞれ 1498 万円を追加し、総額 11 億 2152 万 1 千円となりました。歳入は介護給付費負担金・前年度繰越金で、歳出は介護給付費基金積立金・一般会計繰出金などです。

平成 24 年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）……………【可 決】

予算額に歳入歳出それぞれ 50 万 9 千円を追加し、総額 855 万 2 千円となりました。歳入は前年度繰越金で、歳出は一般会計繰出金です。

平成 24 年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）……………【可 決】

予算額に歳入歳出それぞれ 52 万 3 千円を追加し、総額 2 億 9464 万 7 千円となりました。歳入は繰越金で、歳出は一般会計繰出金です。

財産の取得について……………【可 決】

利根中学校生徒用パソコン等を購入するもの。

利根町教育委員会委員の任命について……………【同 意】

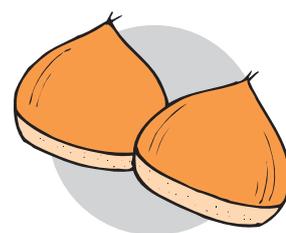
利根町教育委員会の委員を任命するもの。

人権擁護委員候補者の推薦について……………【適 任】

人権擁護委員候補者を推薦するもの。

メガソーラー事業誘致検討特別委員会の設置について……………【可 決】

利根町立木の町有地 6 万平方メートルに、メガソーラー事業を誘致することの妥当性の検討をするため、メガソーラー事業誘致検討特別委員会を設置するもの。



人

事

案

件

利根町教育委員会委員

住所 利根町大字布川 1582 番地

氏名 佐藤 忠信

任期 平成 24 年 9 月 8 日から 4 年間

人権擁護委員（諮問）

住所 利根町大字布川 3355 番地

氏名 伊藤 幸子

任期 平成 25 年 1 月 1 日から 3 年間

問 耕作放棄地を増やさないよう努力すべき

答 基盤整備は必要、人・農地プランを調整中 **若 泉 昌 寿 議員**

問 利根町の産業は農業であり、米作りが主体と言っても過言ではない。しかし、農業に従事している方々の平均年齢は68歳を過ぎている。基盤整備が終わっているのは全体の5割程度（東文間地区は済み、文間地区は工事中。）で、文地区、布川地区の整備は現状では無理。このまま5年10年先は高齢化により米作りに従事出来なくなり、耕作放棄地が増え続けて荒れ放題になる。町は明日からでも農家の方々と何度となく話し合いをして行くべきと思う。特に基盤整備が済んでいない文地区・布川地区においては、1反歩、1反5畝の田んぼの畦道を取り除き1枚の大きな面積にすると作業がしやすくなり効率が上がる、一つの例としてこのような施策もある。町は農家の方々とよく話し合っていくべきと思うが、そのような考えはあるか。

答 基盤整備は必要、以前に文地区、布川地区においてアンケートを取ったが賛成が66%の結果で、整備をするには95%以上でないとは現状では無理。今後の計画としては人・農地プラン作成の調整を行い、集落座談会等を開催し、農業に対する取り組み方のプラン作りを現在行っている。今後、耕作放棄地を増やさないよう町として施策を展開していく。



問 現在の交通弱者対策の課題と問題点は

答 可能な範囲で工夫したい **白 旗 修 議員**

問 ふれ愛タクシー（乗合タクシー）と福ちゃん号（福祉バス）は利便性と受益者負担の点で問題があると思うがどうか。

また、町民の高齢化が一層進んでいる中で、交通弱者が今以上に増えようとしている。中長期的な対策をどう考えているか、伺いたい。

答 ふれ愛タクシーは運行上の制約が多く、可能な範囲で対応したい。福ちゃん号も今後見直しを進めたい。

中長期的対策は、今はない。現行のふれ愛タクシーと福ちゃん号で対応したい。

問 公共交通問題は広域にわたるから、近隣自治体を巻き込んで、民間事業者と共存共栄できるしくみを構想し、交通特区のようなものを国に申請してはどうか。

答 そういう広域連携のようなものは必

要かなと考えている。

問 町ではごみ減量化の手段として、生ごみの堆肥化を進めているが、現状はどうか。

さらに、ごみ処理費用の削減策は、生ごみの堆肥化だけではきわめて不十分だ。ごみ処理も下水道料金などと同じ生活のインフラなのだから、受益者負担を適正化すべきでないか。

答 生ごみの堆肥化は、昨年の大震災の影響で、今実施が中断しているが、今後進めたい。なお、家庭ごみの量は年々少しずつ減ってきている。

費用の削減については、町は平成22年にごみ減量推進協議会の答申を尊重して、ごみ袋の値上げを凶ったが議会で否決されてしまった。

問 空き家等適正管理条例の制定を求める

答 私有財産に関する問題があり慎重に検討

五十嵐 辰 雄 議員

問 経済事情や高齢化等に伴い、住宅地等では老朽化し草木が繁茂し荒廃したまま放置された空き家が増加し、倒壊や犯罪等により周辺住民への悪影響が問題となっている。住宅団地及び農村集落の空き家の実態調査をする考えを問う。

答 全地区の空き家調査は行っていないが、住宅団地の6行政区に於いて町職員による空き家外観調査は実施している。管理状況の悪い家は、区長の要望書により現場調査を行い、所有者に改善を要望している。農村集落は現在調査する予定はない。

問 空き家等適正管理条例を制定し、空き家の所有者に適正な維持管理を義務付ける。条例に基づき町が空き家の所有者に必要な措置を勧告し、生活環境の改善を図る必要があります。条例制定の方針を問う。

問 小中学校への災害時緊急対策は

答 災害対策マニュアルを作成し対応

花 嶋 美清雄 議員

問 町の災害時緊急の対策について伺う。
(1)小中学校への登校時に地震等があった場合の安全確保について、町、教育委員会は、保護者、児童生徒に対しどのように周知をするのか。
(2)通学路や学校各所の安全点検は行っているのか。行っているのであれば年に何回実施しているか。
(3)ひとり暮らしの方や高齢者の災害緊急時の避難対策はどのように考えているか。

答 (1)各学校には、県教育委員会の学校防災手引をもとに災害対策マニュアルを作成し児童生徒の安全確保に努めている。自分の身の安全は自分で守ることが出来る能力を身につけるよう指導している。
(2)年1回新学期に点検している。
(3)利根町災害時要援護者登録制度があり、65歳以上のひとり暮らしの高齢者、寝たきりの高齢者、認知症高齢者、身体、知的、

答 空き家等適正管理条例制定の方針については、多くの自治体で東日本大震災を契機に倒壊等防災面の危機感が高まり、条例化の検討が進んでいる。条例違反により行政代執行を行っても、費用回収が困難など問題がある。火災予防、防犯対策、環境保全、景観維持等複数の関係箇所にもたがる事項であり、関係箇所が連携を図って対処することが重要である。

私有財産に関わる問題だけに、慎重に検討を重ねていきたいと考えている。

問 住民生活に直結する空き家対策条例の原案を制定し、パブリックコメントにより町民から意見募集を行う考えを問う。

答 条例を制定するには、住民の意見を幅広く聞くことが重要であります。意見公募手続、意見提出制度を活用し、その結果を反映するよう考えている。

精神障害者、援護を必要とする方が、町に登録し民生委員、社会福祉協議会、警察署、消防署に情報提供し、民生委員をはじめ関係機関や地域住民に協力をいただき、要援護者の方を避難所まで誘導する。

問 緊急車両について伺う。
(1)立木地区の町道1237、1238号線は道路が狭く車両が通れなく困っていると聞かすが、どのように対処しているか。
(2)今後の対策として、道幅を広げる等が考えられるが、地主との話し合いをする予定はあるか。

答 (1)緊急車両が通行出来ない場所が存在します。消火活動は、放水用ホースを延長して対応し、救急車は、適切な場所に停車しストレッチャーで搬送している。
(2)2回ほど地元から要望があがっている。地元でも協議したがまとまっていません。

問 利根町男女共同参画社会基本計画の策定は

答 なるべく早い時期に策定したいと考える

船川京子議員

問 脳脊髄液減少症とは、交通事故やスポーツ外傷、転倒などで体に衝撃を受けたことなどが原因により、脳脊髄液が慢性的に漏れることで、頭痛やめまい、倦怠感など多種多様な症状が複合的に現れる疾患です。社会的認知度も低く心因的なものと診断されてしまうこともあり、子供の場合、怠け病や仮病などと誤解され不登校と判断されてしまうなど、周囲の理解が得られず苦しい思いをされている方も少なくない。町民の皆様、教育関係者や保護者の方々に對し、正しい理解と認識を持っていただくために、町及び教育現場においてどのような取り組みをされるのか伺う。

答 脳脊髄液減少症患者支援の会・子供チームの方々の要望により、8月1日付で啓発内容をホームページに掲載しているが、引き続き町民の皆様にも周知、啓発をしてみたいと考える。また教育現場の事故防止対策

を強化すると同時に、事故発生後には迅速で適切な対応を行えるよう学校安全に努める。

問 今年の5月に町からの情報メール配信サービスが開始された。公民館などで文化協会の方たちが発表会を行う時や、役場で音のまちTONEふれあいコンサートなどのイベントや展示会等を行う場合、町民の皆様にお知らせするために、各団体が町情報メール配信サービスを利用することは可能か伺う。

答 町または教育委員会が協賛、主催および文化協会等公共的な催しの配信は可能である。

問 可能であることを町民にも周知されているか。

答 今後、町民にも周知徹底していきたいと思う。

問 庁内人事異動の公募制を導入する考えは

答 公募制の導入も視野に入れた検討を行う

新井邦弘議員

問 公募制度を導入する目的として、若手職員のモチベーションの向上、問題意識を持った職員の配置により住民サービスの向上などが挙げられる。職員が希望する分野の自分なりの考え方、プランを書面提出と面接形式で直接人事に訴えて、住民サービス向上の効果が期待出来るようであれば、その部署に配属する。こうした職員の人事異動について、公募制度を導入することについていかがお考えか伺う。

答 職員本人の積極性を重視し、能力、適性等を最大限に生かした人事配置を行うことが可能ということで、近年、自治体や教育行政において導入が進んでいる制度であると認識している。今後は職員のチャレンジ精神を引き出し、より質の高い住民サービスが提供出来るよう、必要が生じた場合には公募制の導入も視野に入れた検討を行い、効率的な人事に反映させたい。

問 諸納付金の徴収について、クレジットカードの利用を積極的に推進されてはいかがか。納税者側のメリットとしては、インターネットや電話により自宅にしながら24時間の決済が可能、支払いのバリエーションが増える。他の家計支払いと同一元管理が可能。行政側のメリットとしては、納付手段の多様化による住民サービスの向上、期限内納付及び収納率の向上、収納業務の効率化、徴収コストの低減などが考えられる。住民サービスの向上と徴収事務の簡素化、効率化を推進するため、クレジットカード納付を導入することは、時代の流れであると考えているが、いかがお考えか伺う。

答 十二分に検討した上で、課題解消のため研究に取り組み、その需要なども把握しながら進めていきたいと考えるが、現時点では今後の懸案事項と考えている。

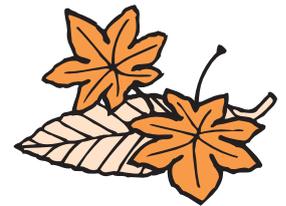
問 企業誘致以外で歳入増を図る考えは
答 空き家バンクと子育て支援で活性化

守 谷 貞 明 議員

問 スポーツ大学とメガソーラー。外部企業の誘致で数千万円の歳入増となったが、年間約八億の歳入不足には、まだ足りない。企業誘致に頼らない独自の活性化が必要だ。町おこしに成功した代表的な事例、コシヒカリの魚沼市、海産物の海士町、葉ものビジネスの上勝町などが有名だ。この三つの町に共通しているのは、町長、市長を先頭に担当課の職員が行動を起こし、宣伝、販路拡大に主要都市を飛び回ってセールスをしていることです。翻って利根町では、販売活動、宣伝活動で飛び回っている職員は一人もいません。毎日役場にきてデスクワークをしています。町づくりを本気で推進し、農産物を首都圏で売る、自主自立の精神、気概が大事です。新しいビジネスを興し、農産品を売る。担当職員は役場で仕事をしなくていいんですよ。首都圏の若い世代に利根町の子育て支援の手厚さと住環境の良さ、豊かな自然の恵みをP

Rし、新住民を増やす努力。また、利根町の美味しいコメを生産者と職員と一緒に売り捌く。自主自立で活性化出来る町にする。職員の意識改革を行い、歳入増を図っていただきたいと思うが、町長のお考えは。

答 議員のおっしゃるとおりであります。以前、アンテナショップを東京に借りて、利根町のコメや農産品等を販売しようと計画しました。直接、町が運営出来ませんので、業者をお願い致しましたが、引き受け手がなく頓挫してしまいました。職員の意識改革を高め、様々な問題をクリアして、今後対応していかなければならないと考えています。



問 町の花の管理について

答 カンナは自然に枯れてしまう花だ

井 原 正 光 議員

問 郷土に誇りを持って手を加え、活動されている方もいる。カンナが増え過ぎると、除草剤で枯らすと話す公人がいる。その公人などを任命する際、宣誓、町民憲章を朗読させるなどしてはどうか。

「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ、健康寿命をのばそう」の標語がある。健康を守る町長が人前でプカプカやっているのは始末が悪い。役場は禁煙、11月8日はいい歯の日、この日に向けて健康増進運動を進めてはどうか。

答 カンナの花は球根なので、そのまま植えておくと自然に枯れてしまう性質の花なので管理が大変だ。これまでも任命の際、朗読させたということは聞いていない。

答 町は高齢者対策として、生活機能の低下が見られる。噛む力の弱い方の指導しかやっていない。

問 高齢化社会を迎え、65歳になってから介護が必要とならないよう、健康管理をするということだけでなく、生まれた時からの管理が必要だ。特に口腔機能について歯医者さんに聞いたら、歯のメンテナンスに来る人は殆ど無いという。喪失予防も大切ですが、幼児、学齢期のう蝕予防、成人の歯周予防も大事です。

問 町の農政について、農業以外の方にも公共財だと認識してもらう施策も必要だ。

答 6月の答弁の中で、プランニングと格好いい言い方をしたが、具体的にはまとまっていません。

利根町議会日誌

(平成24年7・8・9月)

平成24年9月30日現在

月	日	曜日	活動内容
7	3	火	茨城県国民健康保険運営協議会会長会調査研究会（4日まで）
	〃	〃	平成24年度利根地区法人会通常総会
	5	木	平成24年度第8回利根町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
	11	水	平成24年度稲敷地方広域市町村圏事務組合議会行財政視察（12日まで）
	19	木	平成24年度我孫子市・利根町まちづくり連絡協議会
	〃	〃	全員協議会
	20	金	利根町土地利用推進協議会「第2回小委員会」
21	土	平成24年度利根町PTA連絡協議会指導者研修会	
24	火	平成24年第2回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会	
25	〃	龍ヶ崎地方塵芥処理組合懇談会	
8	3	金	第63回利根川治水同盟治水大会
	6	月	県南町村議会議長会
	7	火	利根町国民健康保険運営協議会
	8	水	平成24年第2回茨城県南水道企業団議会定例会
	〃	〃	町村議会議長会前会長退任慰労会
	9	木	平成24年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
	10	金	全員協議会
〃	〃	厚生文教常任委員会	

月	日	曜日	活動内容
8	17	金	利根町教育研究会・夏季一斉研修会
	18	土	利根町民納涼花火大会
	22	水	平成24年第2回町村長・議長合同定例会
	〃	〃	利根町土地利用推進協議会「第3回小委員会」
	23	木	平成24年度第2回利根町土地利用推進協議会
	〃	〃	全員協議会
	〃	〃	取手北相馬地区正副議長懇談会
24	金	平成24年度第4回利根町老人クラブ連合会演芸大会	
27	月	議会運営委員会	
〃	〃	冠水対策特別委員会	
30	木	茨城県市町村振興協会平成24年第3回臨時評議員会	
〃	〃	冠水対策特別委員会	
9	3	月	平成24年第3回定例議会（14日まで）
	8	土	利根中学校体育祭
	16	日	第7回生涯活動フェスタ in とね
	19	水	放射能等災害対策特別委員会
	〃	〃	メガソーラー事業誘致検討特別委員会
	26	水	利根町土地利用推進協議会「第4回小委員会」
	28	金	防犯連絡員協議会総会
29	土	町立小学校運動会	
30	日	利根町敬老会	

お知らせ

町議会を傍聴しましょう！

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し、審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回、9月定例議会の傍聴者は延べ81名でした。

次回の定例議会は12月4日（火）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で！

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 68-7990

発行責任者：利根町議会議長 五十嵐 辰雄

編集担当：守谷 貞明／船川 京子